

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

## 1. 参加者

中塚、服部、別府

## 2. 山城／ルート

八ヶ岳／阿弥陀岳南陵、北八ヶ岳／北横岳～縞枯山

## 3. 交通手段

自家用車

## 4. 行動記録 入山日：2022年10月7日（金）～下山日：2022年10月9日（土）

10/7：21時 神戸発－25時半 中央道原 PA 車中泊

10/8：4:30 起床／5:00 原 PA 発－5:30 舟山十字路（駐車）5:45 スタート－7:45 立場山  
－8:10 青ナギ－9:45 P3 基部－10:25 阿弥陀岳 11:20－13:10 御小屋山  
－14:10 舟山十字路駐車地

10/9：8:45 北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅－9:35 北横岳（南峰）－10:30 三ッ岳  
－12:20 縞枯山－13:10 ロープウェイ山頂駅

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

### a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通りに行動できた

### b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

→ ヒヤリハットなし

### c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

→ 特になし

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・阿弥陀南陵は事前に記録などを読み込んでいたので、ルート取りに迷うような箇所はなかった。多少危険と感じたのは、P3 ルンゼの起点に下り立つ箇所くらいだが、ゆるゆるとはいえワイヤーが張られているので安心感はある。
- ・ルンゼ内は浮石が多く、落石の可能性が高いので注意した。メンバーの間隔をあけたり、後続が安全な位置まで移動してから行動したりした。
- ・御小屋尾根の上半分くらいはかなり急傾斜で、湿った土や落ち葉に隠れた木の根などでスリップしやすい。ケガはなかったが何度かスリップした。
- ・北横岳の頂上からの景観は素晴らしい。北アルプス北部から中ア、南アなどぐると南八ヶ岳の連峰まで見渡せた。槍や大キレットなどもくっきり。
- ・三ッ岳を通るルートはグッと人が減り、ゴロゴロした大岩の上を渡っていくような感じ。登山とは少し違うアクティビティのようで、全身運動が楽しい。



阿弥陀南陵 P3 ルンゼ

## 7. メンバー感想

### <服部>

阿弥陀岳は今年の冬山で北陵を登ることが出来た際に次は南陵に挑戦したいと思っていた。今回無雪期に登頂してみて、やはり南陵はルートが長くルンゼポイントの危険度が高いなど実感した。しかし機会があればスキルアップして挑戦したい。

北横岳はファミリーで登山を楽しむ方が多いようで賑やかだった。

三ツ岳は思いのほか岩場が多く、三点支持で確実にいき、全身を使って岩を乗り越えたり体力を要したが楽しめた。

縞枯山は沢筋を直登で足にくるルートだった。以前TVでみたシラビソなどの枯れた樹林の縞々を思い出した。

宿泊した美濃戸高原ロッジは食事（松茸入りお茶碗蒸しや焼き肉や鮎の塩焼きなど）よし、温泉（ラジウム）よし、宿の方の人柄よし（薪ストーブにあたりながらご主人が作ったヤマブドウのお酒や山ボケのお酒を頂きました）大変いいお宿でした。

ご一緒させて頂いた中塚さん・別府さん、楽しい二日間ありがとうございました、そしてお疲れ様でした。

### <別府>

今回の山行は八ヶ岳デビュー戦でした。

天候悪化が危ぶまれていましたが、予定の2日間（10/8-9）は運良く晴れ予報にて決行。両日共に、昼過ぎからガスでモヤって来る事はありませんでしたが、晴れ間が多く良い山行になりました！

しかもヴァリエーションの富んだ2日間で、初日の阿弥陀岳南陵は、ピーク手前から崖に近いような所をよじ登るようなルートを。2日目の北横岳～三ツ岳は、岩場を越えていくようなルートを。

宿泊については、美濃戸高原ロッジという施設は古めですが、ご飯の美味さはピカーで食後は暖炉を囲んでマスターとの2次会を開催され、自家製の果実酒を振舞われました。



阿弥陀岳山頂で



北八ヶ岳三ツ岳付近

是非、近辺で宿泊の際にはこの『美濃戸高原ロッジ』をお勧めします。

最後に中塚 LD。企画から運転（復路についてはスタートから甲賀土山まで non-stop というタフっぷり）、誠にありがとうございました。また、ご一緒頂いた服部さん、ありがとうございました。またの機会に是非お願い致します！

#### <中塚>

阿弥陀南陵は他のパーティとの接触はなく、期待通り静かで面白いルートだった。途中ガスにも包まれたが、これも高山らしくて良い雰囲気だった。

翌日の北横岳周辺の山域は初めてだったが、南八ヶ岳とは違う自然がとても良かった。雪の季節のイメージもできた気がする。

同行した二人はそれぞれにいろんな山行を重ねており、安心して一緒に行動ができた。

阿弥陀のあとは美濃戸口のロッジで宿泊したが、会の山行とは思えない豪華な食事などで、やや罪悪感を覚えながらも快適で大満足。

行き帰りとも車中は雨だったが、行動中は好天でラッキーだった。ただ工事渋滞や、事故があちこちで起きていて名古屋市内を抜けるなど、帰りはだいぶ時間がかかってしまった。

三ッ岳頂上（後方は蓼科山）



ガスの中（縞枯山荘付近の木道）



「乾杯！！」（宿で夕食）